

### 子どもの成長を促す プレーパーク(冒険遊び場)の設置を

緑水クラブ 木村 眞澄

一 新年度予算編成の基本姿勢について  
長引く景気低迷から収税減も想定され、引き続き厳しい財政運営を強いられる中、平成23年度は、創意・工夫によって人とのきずなや触れ合いを大切に、温かさと潤いのある予算を編成したとのことだが、具体的な事業はどのようなか。

答 高齢者支援施策として、独り暮らしの高齢者等が地域で孤立することのないよう、高齢化率の高い地域をモデルとして、自治会や民生委員、老人クラブ、元気な高齢者等が連携して、声掛けなどの見守り活動に取り組み。また、子育て支援施策として、保育所における保育を補完する新たなサービスとして家庭保育福祉員(保育マ



プレーパークの設置を(東京都世田谷区の羽根木プレーパーク)

### 2020年を目指し 支え合う地域社会の構築を

公明党 横山 むらさき

一 市長の政治姿勢について  
支え合う地域社会の構築において、人づくりに関する考え方はどうか。また、地域主権推進のために自治基本条例制定に向け市民参画で取り組む必要があると思うがどうか。

答 厳しい財政状況下、人こそ財産であり、市民や地域の連携を深め、市民協働型社会を実現していきたい。また、条例制定については、新部署を設置し検討していく。要望 10年後の2020年を目指した新総合計画のスタートに当たり、市民の幸福度が上がる政策に取り組んでほしい。

二 ごみの減量と資源化について  
大量廃棄社会から循環型社会



ごみの分別収集を拡大し資源化を促進せよ

への変革が求められている中、生ごみの堆肥化と廃食用油の資源回収の促進状況はどうか。  
答 生ごみの分別収集に協力できる自治会を拡大するとともに、生ごみ循環システムを構築し、良質な堆肥作りに努めていきたい。また、廃食用油の回収は、全市民的なステーション収集へ切り替える。三 浸水被害対策について  
地球温暖化の影響により、今

までの推定外の集中豪雨による浸水被害が発生したが、今後の水害対策はどうか。  
答 新たに発生した道路冠水や浸水被害場所は、積極的に対応していきたい。また、内水被害に対す

た総合的な支援体制を早急に整備する必要があらうと思うがどうか。  
答 子どもの健全な心身の発達へ大きな影響を及ぼし、生命をも脅かす深刻な社会問題であると認識しているため、相談機能の充実やはだのつ子すこやかネットワークを有効活用して、発育予防や早期発見・早期対応に努めるほか、虐待を受けた子どもたちの見守りを通して、親子関係の修復、家族の再構築に至る総合的な支援に取り組みしていきたい。また、生後4か月までの乳児がいる家庭を訪問するこには赤ちゃん事業を早期に実施していきたい。

### 高速バス路線の整備により 市民の利便性を向上せよ

市政会 小菅 基司

一 高速バス路線の整備について  
以前から要望していた空港連絡バスのうち、平成23年4月から成田空港線が運行されるが、必要性が高まっている羽田空港線の状況はどうか。また、利用方法の東名桑野バス停は、利用者の周知不足や交通手段の悪さなどにより利用者数が少なく、停車回数も近隣に比べ少ない。市民や企業の利便性向上を図るため、利用率向上と停車便数の増加に取り組むべきと思うがどうか。



高速バスの利便性の向上を(東名桑野バス停)

二 カルチャーパーク再編整備構想について  
市民要望が高いパークゴルフ場を再編整備の一環として設置すべきと考えるがどうか。  
答 大規模なものでなければ可能であり、設置を検討する。

### 生活保護世帯への水道料金減免廃止を中止し、暮らし、命を守れ

日本共産党 露木 順三

一 市長の政治姿勢について  
約14億円を支出するカルチャーパーク再編整備構想は、新総合計画の重点だが、どのように市民の暮らしを守るのか。

答 自然と共生した中で安心して暮らせるまちづくりを目指したい。二 平和への取り組みについて  
本市は平和市長会議に加盟し、「核兵器全面禁止のアピール」を支持している。新しい署名運動に



核兵器のない平和な世界を(親子ひろしま訪問団)

答 多くの理解と協力が得られることを見込んでいる。三 暮らし、福祉、子育てについて  
滞納者に対し、生命保険など104件を差し押さえ、分割納付者なども差し押さえしている異常事態だが、今後の対策はどうか。  
答 納税者の生活状況を考慮し、納税緩和措置を適正に執行する。

二 労働者の賃金について  
労働賃金適正は本市の責務であり引き続き調査研究を進めたい。三 勤労者 中小業者への経済施策について  
公共工事の労働者最低賃金を担保する公契約条例制度はどうか。  
答 最低賃金の維持、福祉の増進を図ることに支障がないと考える。四 勤労者 中小業者への経済施策について  
公共工事の労働者最低賃金を担保する公契約条例制度はどうか。  
答 労働賃金適正は本市の責務であり引き続き調査研究を進めたい。

### 議案審議

公平委員会委員に小久保氏を再任  
監査委員に一色氏を選任  
固定資産評価員に高橋氏を選任

秦野市公平委員会の委員の選任について  
小久保孝二委員の任期が平成23年3月31日に満了することに伴い、同委員を再び選任するもの。

議案審議は(1:8面にも掲載)

議案審議は(1:8面にも掲載)

議案審議は(1:8面にも掲載)

議案審議は(1:8面にも掲載)

議案審議は(1:8面にも掲載)